



沓掛小学校だより

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

10月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

NO. 582

安全な学校づくりのために

副校長 榎本 純子

先日の運動会には、大勢の保護者・地域の方々に御来校いただきありがとうございました。天候不順のため日曜日開催となり、お弁当の準備等で御迷惑をおかけしましたが、すべてのプログラムを行えたことをとてもうれしく思っています。どの学年の子供たちも、それぞれに目標をもちながら練習を進め、当日は自信をもって表現したり、自分の力を最大限に出そうとしたりする姿をたくさん見ることができました。何より大勢の皆様への応援の声や大きな拍手が、子供たちの力になったことと思います。

今年度は「安全な学校」を実現していくための取組の一つとして、保護者・地域の皆様の名札着用をこれまでよりも強くお願いしています。運動会でも、校庭への入退場は銀門のみにさせていただき、名札のない方は必ず受付を通っていただくことにしました。昨年度までの方法とは異なっていた点もありましたので、少し不便だなと感じた方もいらっしゃるかもしれません。また名札のない方には、ぜひ名札を付けてくださいというお願いをしたり、受付へ行くようにという声掛けをさせていただいたりしました。保護者の皆様だけでなく、御親戚の方が応援にいらした御家庭では、事前に多くの名札を準備していただく等、御協力いただくこともたくさんありましたが、大きな混乱なく運動会を無事に終えることができました。

いざというときに備えて、学校では様々な取組をしています。毎月行っている避難訓練では、地震、火事が起きたときの訓練に加えて、年に1回は不審者対応訓練も行っています。年度当初は予告した時刻に避難訓練を行い、「お・か・し・も」の約束を守

るという避難行動の基本を身に付ける訓練を行いますが、後半は予告をなしにして子供たちが自分で判断して避難できるような訓練を行っています。さらに月に1回の安全指導の日には、登下校の決まりや自転車の安全な乗り方等の指導に加え、近年はインターネットや携帯電話を使うときに注意することについての指導も行っています。時代の変化とともに、安全指導の内容も変化し、いろいろな場合を想定して指導をする必要が出てきた中で、一番大切なことは、子供たち一人一人が自分の身は自分で守るという意識をもち判断力をつけていくことだと思います。災害が起きたら安全な場所を自分で考え行動する力や、近くにいる大人に助けを求める力を育んでいかなければなりません。

このような指導を続ける中で感じることは、安全な学校、安全な地域をつくるためには、保護者・地域の皆様のお力が何よりも大切だということです。困ったときに子供たちがすぐに声を掛けられる大人が周りにたくさんいることや、私たち大人ができるだけ多くの人と顔見知りになること、全ての大人がみんなで子供たちの安全を守ろうという意識をもつことが必要です。そういう意識が子供たちを守る一番の力になることと考えます。

今後も10月の土曜授業「わくわくチャレンジ」、11月の「学芸会」等、子供たちの活躍を見ていただく機会が多くあります。その際にも受付を必ず通っていただくことや名札着用等に御協力いただきながら、できるだけ多くの方に学校に来校していただき、学校の取組や子供たちの様子を知っていただくとともに、安全な学校づくりを共に進めていきたいと思っております。